

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	西東京市南町 3-23-1
園名	向台保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「体」

<テーマの設定理由>

- ・自分の体を知り、体の不思議や機能に気付く。
- ・運動を行いながら興味・関心を持ち自ら安全な生活をつくりだしていく。

2. 活動スケジュール

① 9～11月

- ・座る、立つ、歩く、走る、スキップ、両足跳びなどを運動会の種目に取り入れ楽しみながら活動をしていく。
- ・戸外で雲梯、鉄棒、三輪車、縄跳び、フラフープ等を使い体の使い方・力の入れ方を知らせていく。

② 12～1月

- ・体操やリズム遊び、巧技台を使って体の使い方・力の入れ方を知らせていく。
- ・握る、ちぎる、つまむ等の手や指先を使った動作を意識し、はさみや折り紙、粘土を使った制作を行っていく。保健指導、栄養指導から体の仕組みを知る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

フラフープ、雲梯、ぽっくり、三輪車、ボール、縄跳び、バランスミニおやま、レインボーバランスストーン、ミュージックパッド、ハサミ、折り紙

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・ホールを利用し、バランスミニおやまやミュージックパッド、レインボーバランスストーンを組み合わせて円状に並べ、順次進む。最初はバランスの取り方が難しく、すぐに落ちてしまい続けられず、どうしたら落ちないかを考えながらバランスの取り方や体の使い方を工夫して落ちずに進めるようになっていった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・子どもたちは、自分の順番が来るまで、前の子がやっている状況をよく観察し、どうやったら落ちずに進んでいけるのかを考えながら、実践する姿があった。

・自分の前の子がバランスを崩して落ちてしまうのを見て、「大丈夫？」と助けようとする姿があった。

・ミュージックパッドを踏むと「音が出て楽しい」という声がたくさん聞かれた。

・バランスミニおやまのポツポツ部分を踏んで、「足（の裏）が痛い～」と足裏で感じる感触を楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・バランスのとり方に工夫ができる配置にし、感触を確かめられる玩具の設定をした。見守りをするだけで、多くの声掛けをしなくても、子ども自身が体で感じ、失敗を繰り返しながら成功体験を学び、自信に繋がっていく様子が感じられた。